



会長 岩 淵 正 彦
 幹事 高 橋 利 光
 会報 江 川 元 徳 清 水 健
 猪 股 育 夫 村 上 武 彦

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2538回例会 2016. 2. 25 No.32

本日の出席率

・本日の出席率 94.5%

ニコニコボックス

- ・岩淵正彦会長 先週は地域善行者、優良従業員表彰ご苦労様でした。今日は加藤亮会員のスピーチとなっております。期待して聞きたいと思います。
- ・菅原文之会員 加藤亮会員のスピーチを楽しみに聞かせていただきます。女房の誕生祝いの花、大変ありがとうございます。まだツボミですが咲くのが楽しみです。
- 佐藤敬喜会員 稔昌20歳の誕生日でした。今日の登米市民病院に関する署名をお願い致します。病院をより良い施設にしたいという思いで登米商工婦人部の方々が発起人となっております。
- ・猪股育夫会員 加藤亮会員のスピーチ楽しみにしています。先週は我が社の社員表彰をいただき有難うございます。
- ・加藤亮会員 本日スピーチの担当です。よろしくお願ひします。
- ・阿部泰彦会員 復興支援コンサート、ご参加下さいますようよろしくお願い致します。
- ・鈴木彦太会員 加藤亮会員のナイススピーチご期待申し上げます。
- ・布施孝之会員 加藤亮会員のスピーチに期待します。
- ・飯塚仁哉会員 加藤亮会員のスピーチ楽しみにしています。
- ・江川元徳会員 欧州の難民問題、早く、うまく改革してほしい!!
- ・菅野幸一郎会員 河北美術展の招待券、ほしい方は菅野まで申し出下さい。本日の加藤亮会員のスピーチにご期待します。

- ・二階堂學会員 加藤亮会員のスピーチにご期待いたします。
- ・高橋義文会員 本日の加藤亮会員のスピーチを楽しみに期待致します。
- ・伊藤幸子会員 毎日寒くて、春が待ちどおしいです。
- ・高橋利光幹事以下 加藤亮会員のスピーチに期待。
 村上武彦会員 佐々木崇会員 氏家良典会員
 佐竹孝行会員 遠藤光則会員 三浦孝次郎会員
 佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 菅原慶一会員
 山田正会員 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員
 武川毅会員 及川昭宏会員 只野佳旦会員
 佐藤早智子会員 及川富男会員 佐々木淳会員
 千葉正宏会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 岩淵正彦会長

先週は三委員会による表彰式でした。青少年地域善行者は残念ながらもありませんでしたが、地域善行者として南方仮設住宅の自治会長宮川さんご夫妻、そして教会を中心に奉仕活動をしているステイブンさんを表彰しました。宮川安正会長さん、ステイブンさんの人柄など知ることが出来、大変素晴らしいお人だと感じました。

又、優良従業員表彰では、ヤマカノ醸造(株)からお一人、川内印刷(株)からお一人表彰することに、ロータリークラブとして社会に貢献する事が出来、大変うれしく思います。

ロータリーでは社会奉仕活動への参加と言うことで、地域社会のニーズに対して政府および民間の諸団体が活動していますが、しかしロータリークラブやロータリアンが地元地域社会において効果的かつ重複しない奉仕を引き受ける、各種やりがいのある機会が依然と

して存在すると言っております。その様な活動を進めて行きたいと思っております。

幹事報告 高橋利光幹事

- ・ガバナー事務所より
2014-2015年度被災RC助成金返金について
- ・ガバナーエレクト事務所より
1. 会長エレクト用資料が届く
2. 会長エレクト研修セミナーの案内
日 時 3月20日(日) 13:30開会 (13:00受付)
場 所 ホテルメトロポリタン盛岡・本館4階
登録料 10,000円
- ・登米祝祭劇場子どもミュージカル劇団より
劇団ドリーム・キッズ通信が届く
- ・菅原裕典ガバナーより、訃報が届く
2013-2014年度ガバナー松良千廣様のご令室様が2月11日にご逝去されました。
学園葬：3月12日・13時、常磐木学園

各委員会報告

- ・社会奉仕委員会 (及川昭宏委員長)
2016年登米市クリーンアップ湖沼群のお知らせ
日 時 3月20日(日) 午前8時30分~午前10時
会 場 長沼会場 (長沼フットピア公園駐車場)
- ◎委嘱状授与
高橋義文会員 ロータリー財団委員会
プロジェクト委員会委員



委嘱状を授与された高橋義文会員

今週のスピーチ

加藤 亮会員

今日は、第1回目のスピーチで自己紹介と私の仕事についてお話いたしました。続いて仕事の事をお話させていただきたいと思っております。

米山で工務店をやっております。親父が大工をやっていたもので、私が引き継いでから今期で15期目になります。15年間やらせていただきましたが、私が経営するとなかなか難しい部分が多々出てきて、いまだに会社は成長せず、そのまままで今まで日々従業員や皆様に教えられて修業をやっている真っ最中でございます。うちの親父といひますか先代の社長から教えられたものは、そう多くはないのですが、職業的に木を使うことが多い、即ち大工は木を使う職人でありま

すのでその木の使い方というものをごそれなりに職業の中で教えられて来ました。

木を使うということですが、色々な木材を使う前に木を使う大工は、人に対して、周りに対して「気」を遣わなければいけません。物ではないですね、心をまずもって遣わなければいけないということを教えられました。いろんな木の種類があるのですが、堅い木があったり柔らかい木があったり、それを大工という職業柄物を作って行くもので、日頃大工さんがやっている仕事の中で教えられます。木によってそこには使ってはいけないということもあります。構造の部分に柔らかい木を使ってはいけない等々あります。

私は実際に木を使って仕事をする方ではありません。会社の中で人をお願いをして仕事を進めて行く方が多いです。そういうことで「気」の遣い方と「人」の使い方は非常に難しいと実感しております。使っている所に使ってだめな人材をでなく、適材適所と言いますか、それが非常に難しいと思っております。

木の中でも板というものがあります。通常板というのは真っ直ぐな芯の通ったきれいなもので、平らでそれが床だとか壁だとか天井に張られるわけですが、その板は大抵はくるう訳です。木に反と書いて板といひますので大抵は反るのです。それを使う方としては、それは反らないものと思って使ってしまう。後でくるいが出て来る訳です。そんな木の板ということからも同じ様に、うちの職人さんにも気の荒い人、穏やかな人、これが得意、これが不得意といろいろですので、人材を見極めずに使うと後で年数が経った時に現われてくることがあります。真っ直ぐなものでも真っ直ぐでないと言う訳ですね。木であったり人間であったり、真っ直ぐなものはほんとうであれば、自分の主張が右、左に曲がりたいけれども頭の中で押さえつけているものなのかなと、そう思っております。

大工は木を使って住宅を作ります。住宅以外にも形の作れるものは犬小屋から店舗まで何でも作るという精神でやっております。

当社のモットーとしては、お客様の夢を形にするということで、お客様の夢をかなえるというスローガンをもって、家づくり、ものづくりに日々携わっております。

日本は、木と紙の文化と言われております。西洋は石と鉄の文化と言われております。西洋文化は自然に打ち勝つ文化、日本は自然を取り込む文化といわれていたのだらうと思ひます。日本の自然を取り入れる文化の象徴は、住宅だったり庭園だったり、自然を自分の生活の中に取り入れる文化が根付いていると言われます。日本人と木はずっと昔から、1300年前の平安時代、法隆寺等木造の建物が作られております。法隆寺は桧が使われているのですが、鉄だとか、プラスチックだとかいうものは劣化が進み強度が劣ってきます。木材は切った後に水分が出るのと、同じ時間をかけると切った時からだんだんと強度が2~3割増します。その様な特性が木にあり、その木を匠に使って、自然をうまく取り入れて作ってきた歴史があります。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。